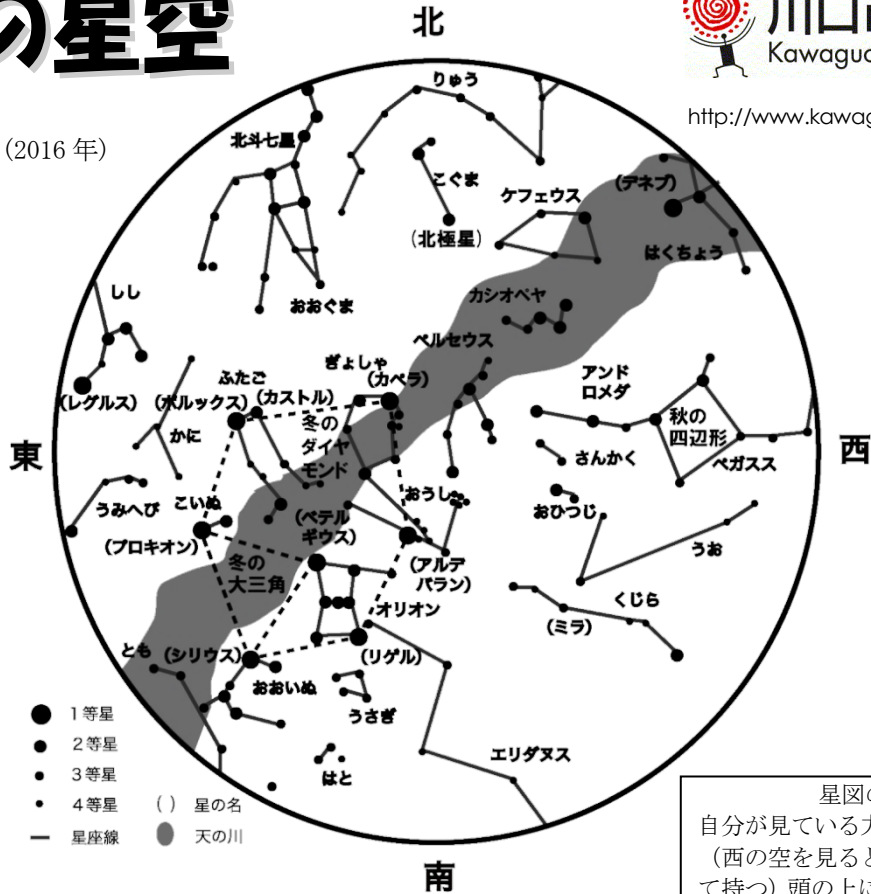


今月の星空

1月 (2016年)

上旬 21時頃
下旬 20時頃



星図の見方
自分が見ている方向を下にして、
(西の空を見るときは西を下にし
て持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ① 下弦2日、● 新月10日、② 上弦17日、○ 満月24日

- 惑星情報
- 水星 明け方 南東 (1月下旬) (いて座 → やぎ座 → いて座 0 → 6 → 0等級)
 - 金星 明け方 南東 (てんびん座 → さそり座 → へびつかい座 → いて座 -4等級)
 - 火星 明け方 南 (おとめ座 → てんびん座 1等級)
 - 木星 真夜中 東 (しし座 -2等級)
 - 土星 明け方 南東 (へびつかい座 0等級)

☆ 冬の星座が観望好機

東から南の空にはオリオン座などの冬の星座が見えています。オリオン座のベテルギウスとその東側の2個の一等星、シリウスとプロキオンの3つの星を結ぶと「冬の三角形」ができあがります。また、シリウス、プロキオン、ポルックス、カペラ、アルデバラン、リゲルの6個の1等星を結んでできる六角形は「冬のダイヤモンド」と呼ばれています。

☆ 2016年の気になる天文現象

・部分日食 (3月9日)

食の始まり 10時12分ころ、食の最大 11時08分ころ (食分0.26)、食の終わり 12時05分ころ

川口ではおよそ4年ぶりに日食が見られます。今回は、最大で太陽が1/4ほど欠ける部分日食です。

※ 太陽は大変強い光と熱を出しています。観察するときには必ず市販の「日食めがね」をかけましょう。望遠鏡でのぞくのは、絶対にやめてください。

・火星が最接近 (5月31日)

火星がおよそ2年ぶりに地球に接近します。火星の「接近」とは、右の図のように、地球と火星がそれぞれの軌道上で横並びになり、距離が近づくことをいいます。火星の軌道はだ円のため、接近時の距離は毎回変わります。

今回は、7500万kmまで近づき、さそり座の近くで赤く輝く姿を見ることができると見られます。

